様式2

公共事業環境配慮書

建設部　　砂防課

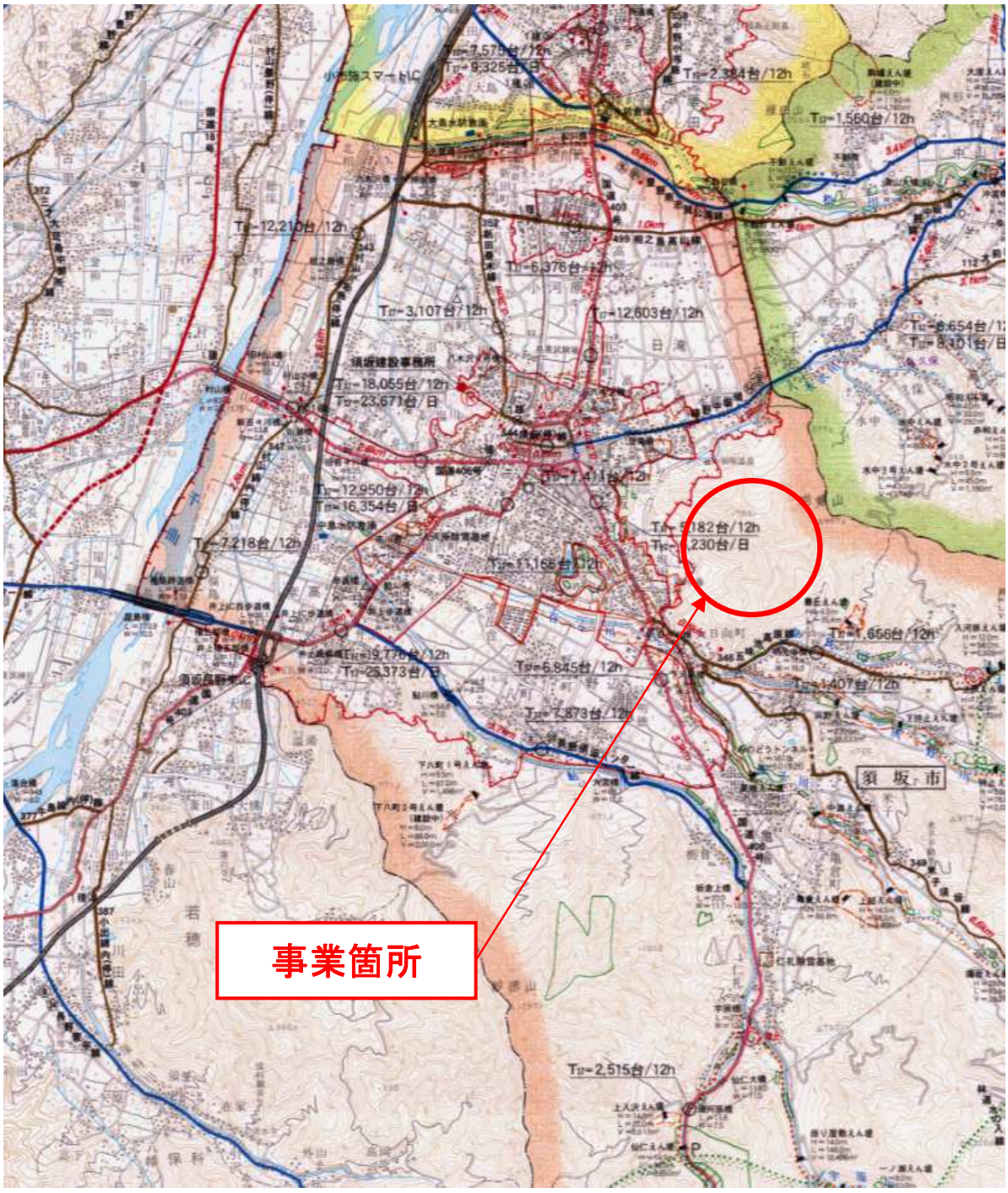
事業名称			
	事業名	交付金通常砂防(重)事業	
	整理番号	R8-6	
	事業の種類	砂防堰堤の建設	
	市町村名	須坂市	
	箇所名	坂田町	
	事業年度	令和2年度～令和11年度	
事業概要			
	目　　的	坂田B及び坂田Cは、長野県北部の須坂市に位置し、警戒区域等に指定され、保全対象に人家143戸、要配慮者利用施設1戸、水道水を供給する坂田浄水場、市道等を有している。流域内は、渓床勾配が急で崩壊地形が認められるとともに、渓床部には不安定土砂が堆積しており、今後の豪雨等により土石流が発生する危険性がある。このため、砂防堰堤を施工し土石流災害を未然に防止するものである。	
	計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤工　2基　(1号 H=10.5m L=72.0m　V=2,473m3　、　2号 H=11.0m L=66.0m　V=3,276m3)	
	関連する事業計画	なし	
	その他特記事項	なし	
関係法令等の規制			
	自然環境保全地域等の指定状況	なし	
	土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地	
	そ の 他	なし	
社会的要素		留意すべき地域の概況	
	交通の現況	保全区域内には、市道L=2,000mが存在する。 事業区域の西側に国道406号が位置する	
	土地利用の現況	山地・丘陵である	
	生活関連施設の現況	事業地内に住居はない。 保全区域内には、人家143戸、要配慮者利用施設1戸、坂田浄水場が存在する。	
	その他	特になし	
自然的環境要素		環境配慮の方針	
	大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
		【大気汚染の防止】	
		・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
		・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
		・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
		・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
		【騒音、振動の防止】	
		・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
		【悪臭の防止】	
		・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。	
	水環境	留意すべき地域の概況	下流に水田、果樹園がある。 下流に坂田浄水場がある。
		【水質汚濁の防止】	
		・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。	
		・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。	
		・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
		【水循環の保全】	
		・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。	
	地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
		【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
		・想定される影響はない。	
		【改変面積の最小化】	
		・段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。	
		・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	

	野生動植物	留意すべき地域の概況	里山の地域である 希少猛禽類の生息・生育地周辺である
		【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
		・回避措置を基本とするが、それができない場合は、重要な動物を個体群の維持が可能な生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	
		【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
		・水際部を保全し、自然植生の連続性を確保する。	
		【動物の繁殖期における影響の低減】	
		・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事をできる限り避ける。	
		【地域独自の生物多様性の保全】	
		・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、外来植物の侵入・定着・拡大の防止に努める。	
		【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
		・落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負荷の少ない構造を検討する。	
	景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
		【すぐれた景観の保全】	
		・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
		【良好な景観の育成】	
		・想定される影響はない。	
	自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	坂田山共生の森(森林の空間利用施設)がある
		【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
		・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変をできる限り避ける。	
		【自然とのふれあい空間の創出】	
		・想定される影響はない。	
	文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
		【文化財等への配慮】	
		・想定される影響はない。	
	廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
		・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
		・工事に伴い発生する建設副産物の発生抑制と有効利用に努める。	
		【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
		・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
		【資源の有効利用】	
		・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	
	省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
		・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
		・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
		【エネルギーの有効利用】	
		・想定される影響はない。	
	日照阻害・ 電波障害・ 光害	【日照阻害への配慮】	
		・想定される影響はない。	
		【電波障害への配慮】	
		・想定される影響はない。	
		【光害への配慮】	
		・想定される影響はない。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	近隣にイヌワシ等の猛禽類が生息している可能性があるため、工事の実施に当たっては、通常の希少野生動植物への配慮に加え、事前に生息状況を把握し、生息が確認された場合は、その保全に支障が生じないよう特段の配慮を行ってください。	令和8年2月から6月にかけて猛禽類調査を実施した結果、対象流域内で希少猛禽類の繁殖を示唆する行動は確認されませんでした。なお、施工期間中も状況把握に努め、影響が懸念される事象が確認された場合には、専門家の助言を踏まえ、工事時期や施工方法の見直し、繁殖期への配慮等を含む必要な環境保全措置を講じます。
2	廃棄物・建設残土	建設副産物の発生抑制と有効利用に努めてください。	工事の実施に当たっては、建設副産物の発生抑制に配慮するとともに、発生した建設副産物については、関係法令等を踏まえ、再資源化等による有効利用の推進に努めます。
3	自然とのふれあい	森林の空間利用施設である「坂田山共生の森」のエリアであるため、景観に配慮してください。	工事の実施に当たっては、「坂田山共生の森」が森林の空間利用施設であることを踏まえ、周辺景観との調和に配慮し、景観への影響の低減に努めます。また、遊歩道の付け替えやアクセス階段の整備等により、利用環境の確保に配慮します。

（砂）坂田　須坂市　坂田町

位　置　図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号　R6KTf10）」